

会 議 録

会議名称	令和4年度蕨市歯科保健連絡調整会議														
日時	令和4年7月14日(木) 13:30～14:50														
会場	蕨市保健センター2階 健康教育室														
出席者 (敬称略)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎山岡 昌彦</td> <td style="width: 50%;">蕨戸田歯科医師会会長</td> </tr> <tr> <td>羽根田 高洋</td> <td>蕨戸田歯科医師会</td> </tr> <tr> <td>望月 公博</td> <td>蕨戸田歯科医師会</td> </tr> <tr> <td>杉村 麻央</td> <td>蕨戸田歯科医師会</td> </tr> <tr> <td>飯田 努</td> <td>蕨戸田市医師会</td> </tr> <tr> <td>渡部 京子 (埼玉県南部保健所所長)</td> <td>平野 宏和 代理出席)</td> </tr> <tr> <td>根津 賢治</td> <td>蕨市健康福祉部長</td> </tr> </table>	◎山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会会長	羽根田 高洋	蕨戸田歯科医師会	望月 公博	蕨戸田歯科医師会	杉村 麻央	蕨戸田歯科医師会	飯田 努	蕨戸田市医師会	渡部 京子 (埼玉県南部保健所所長)	平野 宏和 代理出席)	根津 賢治	蕨市健康福祉部長
◎山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会会長														
羽根田 高洋	蕨戸田歯科医師会														
望月 公博	蕨戸田歯科医師会														
杉村 麻央	蕨戸田歯科医師会														
飯田 努	蕨戸田市医師会														
渡部 京子 (埼玉県南部保健所所長)	平野 宏和 代理出席)														
根津 賢治	蕨市健康福祉部長														
欠席者	なし														
事務局	安治所長 細野保健指導係長 伊藤保健師 山岸保健師														
配布資料	<p>【事前送付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蕨市歯科保健連絡調整会議次第 資料 No. 1 令和3年度蕨市保健事業統計 (歯科保健のみ抜粋) 資料 No. 2 令和4年度蕨市歯科保健事業予定 <p>【当日配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 No. 3 蕨市歯周疾患検診実施状況 資料 No. 4 蕨市歯周疾患検診受診券、勸奨通知、チラシ、ポスター 資料 No. 5 蕨市20歳の歯科健康診査受診勸奨通知 資料 No. 6 蕨市妊婦歯科健診チラシ、ポスター ・蕨市歯科保健連絡調整会議設置要綱 ・蕨市歯科保健連絡調整会議委員名簿 														
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 自己紹介 4 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度 実施事業結果について (2) 令和4年度 蕨市歯科保健事業について (3) その他 5 閉 会 														

1 開 会

2 会長あいさつ

3 自己紹介

4 議 題

(1) 令和3年度 実施事業結果について

事務局：令和3年度 実施事業結果について報告

委 員：20歳の歯科健診について、受診率は上昇しているが、受診期間の延長によって受診した割合を把握してもらおうとよい。

事務局：実施期間が2月まででも3月まででも、最後の月の受診が多い。割合は出してはいない。

委 員：歯周疾患検診について、市民からの要望はあるか。

事務局：直接ご意見はいただいていない。

委 員：歯周疾患検診の受診率は11.4%。世の中の動きとしては歯周病と全身の疾患ということは言われ、国でも推進されているなかで、受診率を上げていくことが必要ではないか。

委 員：歯周病と糖尿病の関係は理解されてきているなかで、医科の立場として、歯科の取り組みについて助言はあるか。

委 員：昨年の会議でも、内科でのアプローチ方法の話はされている。ポスターの掲示については可能と思われる。医科では健診を行い、治療には至らない糖尿病のリスクのある方に食事指導などはする。そのときに、患者の方に渡す資料などがあるとよい。

委 員：他市では、糖尿病のレセプトを活用して歯科の健診を受診勧奨しているという話もある。医科の健診受診率はどのような状況か。

委員：特定健診の受診率は、蕨市では40%くらいであり高い方であるが、国としては60%を目指している。

委員：患者の方には日々啓蒙はしているが、市でも周知を工夫できないか。ポスターの見直しはできるのではないか。

委員：最近、医科の先生から声掛けしていただいて、歯科受診につながる方もいることを実感している。紹介状は敷居が高くなるかもしれないが、声掛けだけでも歯科健診の受診率は上がるのではないかと思う。

委員：8020の表彰では、定期的にメンテナンスできている方が多い。自身で意識をしてもらうような方法が大切ではないか。歯科医院も敷居を低くしていく必要はあるが、行政からもアプローチをお願いしたい。蕨市は妊婦健診、20歳の歯科健診があり、継続的に事業があることは強みであるため、これを活用できるとよい。

委員：予防活動の充実をしていくことで、他にも波及効果が得られるのではないかと思う。医療費の視点もあるかもしれない。

委員：ポスターも表現の工夫次第で変わるのではないか。

事務局：市で作成しているポスターについては見直しは可能であるため、前向きに検討していきたい。

委員：文章ばかりではあまり見てもらえないと思うので工夫してけるとよい。視覚的な情報は有効であるため、ケーブルテレビなどの媒体で取り上げられればよいかもしれない。

委員：節目外健診の申込者の内訳はわかるか。

事務局：前年度に市の歯科健診を受診している人は、節目外検診は対象外としている。詳細な内訳はわからない。

委員：受診歴にかかわらず、対象外としないということはどうか。
事務局：広く受診していただくことを目的としている。節目外の対象外の方には対象外という通知を出している。

委員：節目外検診の当選者数を増やすことはできないか。

事務局：予算上の問題で節目外検診の当選者を増やすことは難しい状況だが、周知については検討していきたい。

委員：歯周病は感染症というキーワードを周知してもよいのではないか。歯科では、虫歯や歯周病は感染症という認識は当たり前だが、一般には認知されていない。コロナ禍だからこそ、周知の切り口になるのではないか。

委員：判定の内訳をみると、要指導と要精検は多い。

委員：かかりつけ歯科医の有無の統計は把握できるか。

事務局：統計はない。把握ができないわけではないが、かなりの事務量となる。前向きには検討していきたい。

(2) 令和4年度 蕨市歯科保健事業について

事務局：令和4年度 歯科保健事業予定について報告

委員：20歳の歯科健診の対象者は年々減少しているが、今年の対象者はどの程度か。

事務局：今年度の対象者は、発送時期に合わせてこれから抽出していく。

委員：成人が18歳になったが、成年式は20歳か。

事務局：成年式は20歳の予定となっている。

委員：成年式のときの周知では受診期間が短い。しかし、成年式が

18歳なら、18歳から20歳と対象が広がると、受診の機会が拡大するのではないかと。

委員：パノラマレントゲンが撮れるところがこの事業のよいところである。40～50代になると、親知らずの手前の歯に悪影響を及ぼしてくることが多いため、これくらいの時期から、自分の口の中の状況を知っておくことはすばらしいことである。少しずつ受診者も伸びてきているため、力を入れていけるとよい事業である。

委員：20歳の歯科健診を実施している他市もパノラマレントゲンを実施しているのか。

事務局：詳細は把握していない。

委員：パノラマレントゲンは実施していないのではないかと。

委員：今年度の歯ッピーはどうなるのか。

事務局：実行委員長との話では、10～12時もしくは10～13時での実施を検討している。

委員：1歳6か月児健診でもフッ化物塗布をしているため、イベントでも実施可能ではないかと。

事務局：他市の状況として、感染対策として口の中を触らないような内容に変更し、6月に実施している。内容を変更しても集客はあるようであるため、内容については今後相談させていただきたい。

(3) その他

特になし

5 閉会

以上